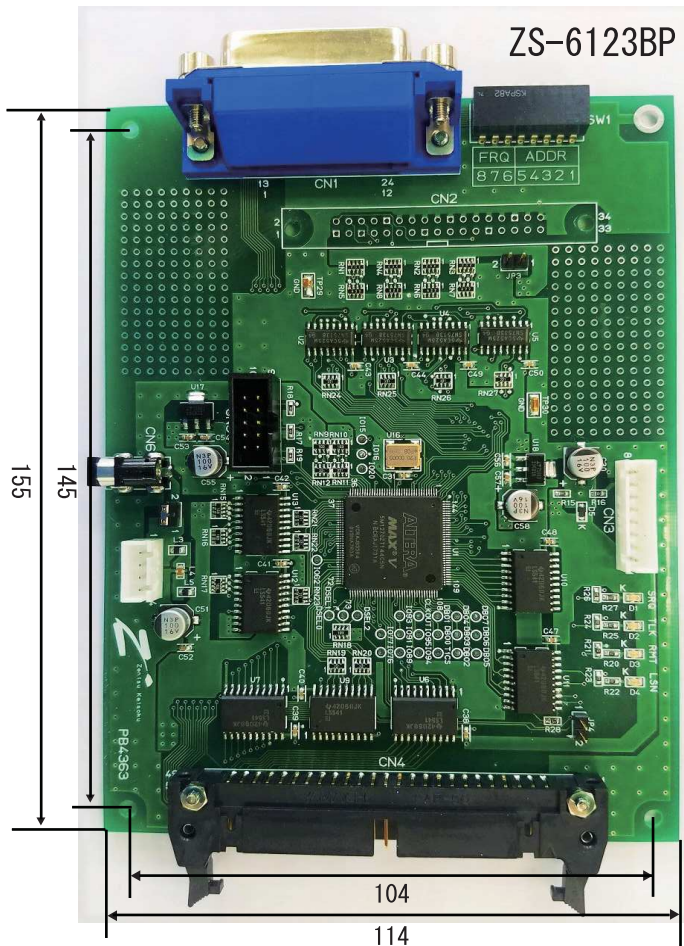


# GP-IB ゲートコントローラ ZS-6123BP

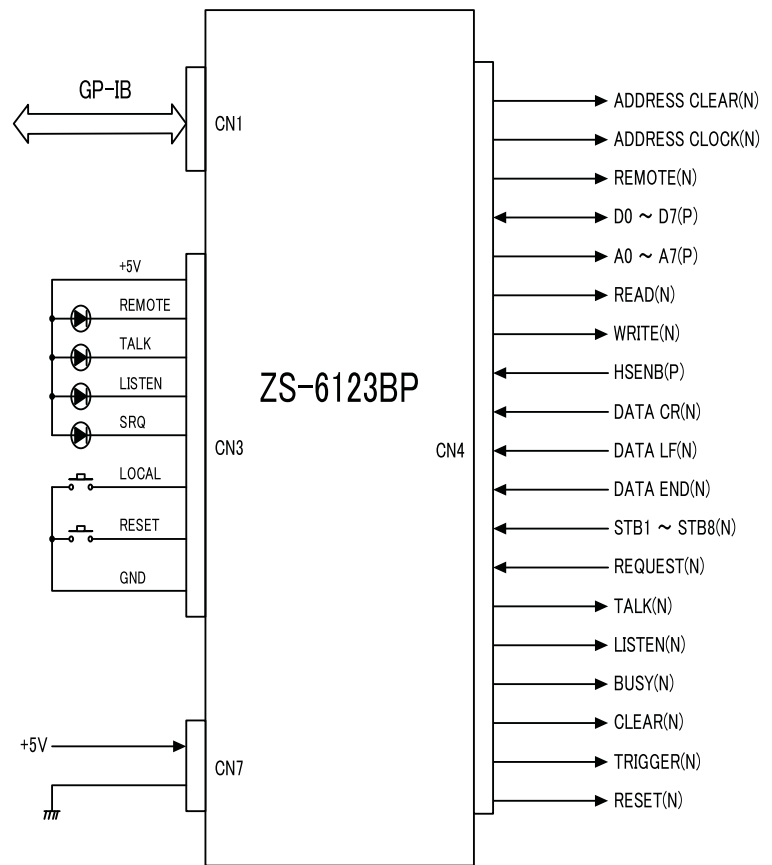
RoHS 対応

## GP-IB とパラレル信号のインターフェイス

ZS-6123BP は、パラレルの BCD やバイナリ信号を GP-IB 通信する場合、外部にデコード回路とラッチ回路を付加するだけで、面倒なタイミング回路の設計を不要にした、GP-IB ゲートコントローラユニットです。本ユニットは 8 ビットの双方向データバスと入出力に対するタイミング信号により、外部機器と高速でデータ通信ができます。特にメモリなどと大容量のデータを連続して GP-IB で通信する場合などに威力を発揮します。



### 信号の種類と方向



### 使用コネクタ

モデル名	GP-IB 信号	DATA 信号	特徴
ZS-6123BP	GP-IB 規格コネクタ	FC-50L	直接 GP-IB ケーブルを接続できます

#### コネクタの型式

GP-IB : 57LE-20240-77COD35G (DDK) / IEEE488 規格コネクタ

FC-50L : FAP-5001-1202-0BF (山一) / L アングル 50 芯フラットケーブル用コネクタ

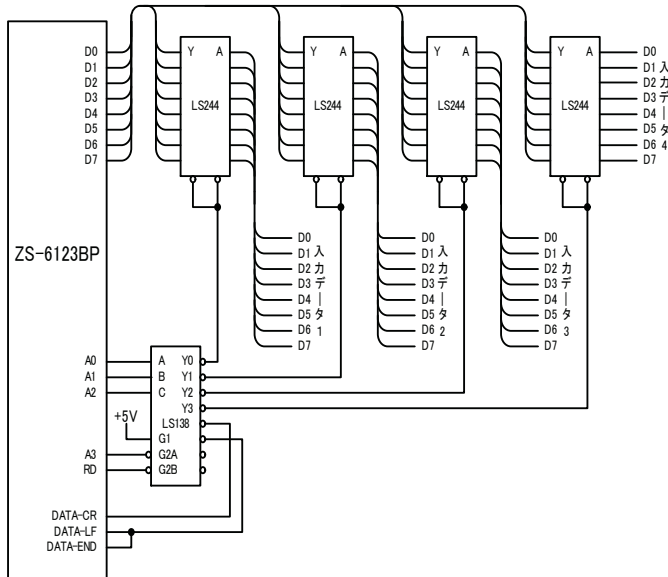
- D0 ~ 7 : データ入力用双方向バス。
- A0 ~ 7 : アドレスバス、この信号をデコードして接続した回路のデータを選択。
- HSENB : データ転送許可信号、この信号を High またはオープンにすると GP-IB のハンドシェイクが出来るようになる。
- READ : 接続回路のデータを GP-IB へ読み取る時のストロブ信号。
- WRITE : GP-IB からのデータを接続回路に出力する時のライトパルス信号。
- STB1 ~ 8 : SRQ 発生時のステータス信号で、SRQ 発生要因を GP-IB コントローラへ知らせる。

# 特長

1. タイミングなどの設計が不要です。
2. 入出力データは最大 256 バイトまで拡張できます。
3. 外部にアドレスカウンタを設ければ更に拡張できます。

## 使用例

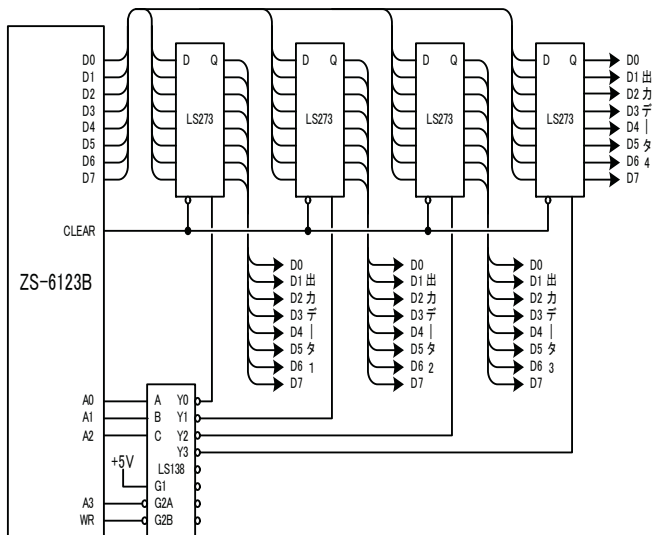
### 入力データ拡張回路



この回路例は、デリミタに CR, LF を使用しており、LF と同時に E01 も出力されます。

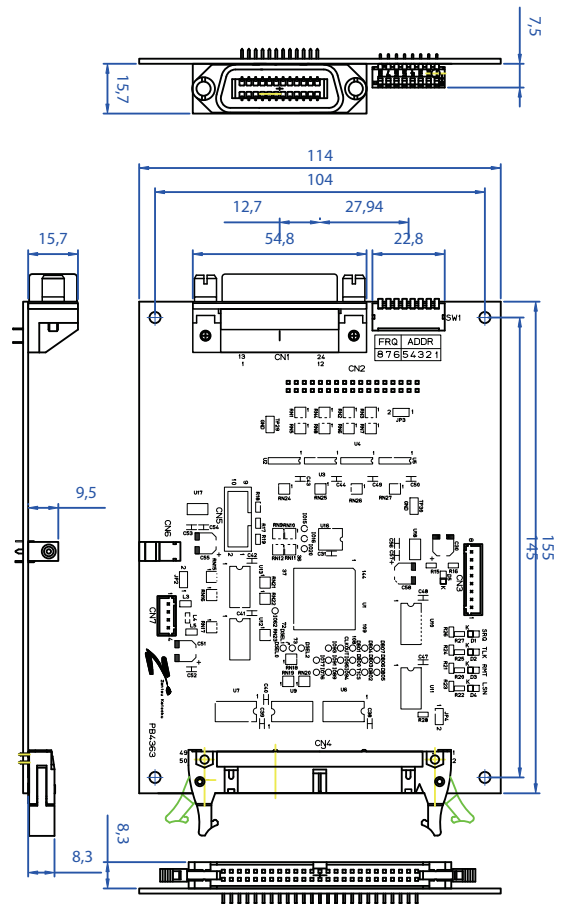
最終データ用ゲート信号は、DATAEND に入力します。入力しない場合 ZS-6123BP は、GP-IB側へデータを送出し続けます。

### 出力データ拡張回路



この回路例では、ラッチ (LS273) を 4 個追加して 8 バイトまで出力データ数を拡張できます。

# 外形寸法図



## 仕様

1. GP-IB インターフェイス規格に準拠 (IEEE Std 488-1978)
2. インターフェイス機能  
SH1, AH1, T6L, 4SR1, RL1, PPO, DC1, DT1, C0
3. 入力動作  
アダプタはトーカーとなり、接続機器の出力データを GP-IB 側へ送ります。信号レベル: TTL (ファンイン=1)
4. 出力動作  
アダプタはリスナーとなり、GP-IB 側からデータを接続機器へ出力します。信号レベル: TTL (ファンアウト=10)
5. 電源 +5V 0.5A
6. 外形寸法 (基板寸法 突起物含まず) 114 X 155 X 約 30 (H)
7. 重量 150 g 以下
8. 付属品 CN4 コネクタ: FAS-5001-2101-0BF (山-) X 1  
CN7 ケーブル: DC 電源用 長さ 60 cm (JST) X 1

製品改良のため、予告なしに仕様、外観などを変更する場合があります



Zenisu Keisoku, Inc.

〒183-0027 東京都府中市本町 2-13-37

TEL: 042-368-2126 FAX: 042-364-0067

URL: <http://www.zenisu.co.jp>